

令和3年6月遠野市議会定例会会議録（付録）

会期日程（11日間）

日次	月日	曜	会議区分	開議時刻	日 程
第1日	6月8日	火	本会議	午前10時01分	開 会 1 諸般の報告 2 会議録署名議員の指名 3 会期の決定 議会運営委員長報告、採決 4 議案の上程 (議案第58号から議案第67号まで 10件) 提案理由の説明 5 予算等審査特別委員会の設置 (議案の付託)
			委員会	本会議終了後	予算等審査特別委員会 (正副委員長互選)
第2日	6月9日	水	委員会	午前10時	常任委員会調査
第3日	6月10日	木	諸会議	午前10時	議員全員協議会 (調査報告・論点整理)
第4日	6月11日	金	—	—	議案調査
第5日	6月12日	土	—	—	休日
第6日	6月13日	日	—	—	休日
第7日	6月14日	月	本会議	午前10時	一般質問
第8日	6月15日	火	本会議	午前10時	一般質問 (発議案提出締切日)
			委員会	本会議終了後	常任委員会 (請願審査等)
第9日	6月16日	水	本会議	午前10時	一般質問
			委員会	本会議終了後	予算等審査特別委員会
第10日	6月17日	木	委員会	午前10時	予算等審査特別委員会
第11日	6月18日	金	諸会議	午前10時	議員全員協議会
			本会議	午後1時	1 諸般の報告 2 予算等審査特別委員長報告 (議案第58号から議案第67号まで 10件) 質疑、討論、採決 3 常任委員長報告 (1件) 質疑、討論、採決 4 発議案の上程 (発議案第1号から発議案第3号まで 3件) 提案理由の説明、質疑、討論、採決 閉会

議案等一覧

〔市長提出議案〕

番号	件名	付託委員会	議決月日	議決結果
58	遠野市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	予算等審査特別委員会	6月18日	承認
59	令和2年度遠野市一般会計補正予算(第11号)の専決処分に関し承認を求めることについて	〃	〃	〃
60	令和2年度遠野市遠野東工業団地整備事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分に関し承認を求めることについて	〃	〃	〃
61	令和3年度遠野市一般会計補正予算(第1号)の専決処分に関し承認を求めることについて	〃	〃	〃
62	遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	原案可決
63	東日本大震災に係る原子力損害の和解に関し議決を求めることについて	〃	〃	〃
64	市道路線の廃止について	〃	〃	〃
65	市道路線の認定について	〃	〃	〃
66	市道路線の変更について	〃	〃	〃
67	令和3年度遠野市一般会計補正予算(第2号)	〃	〃	〃

〔発議案〕

番号	件名	付託委員会	議決月日	議決結果
1	コロナ禍による米価下落に対する政府の緊急対策を求める意見書の提出について	産業建設	6月18日	原案可決
2	「遠野市議会ICT推進基本計画」の成案について	—	〃	〃
3	遠野市議会モラルに関する調査特別委員会の設置期間の延長について	—	〃	〃

請願一覧

〔今定例会に提出されたもの〕

受理番号	請願の要旨	提出者	付託委員会	議決月日	議決結果
1	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書	盛岡市本町通2丁目1番36号 岩手県医療労働組合連合会 執行委員長 中野 るみ子	教育民生	6月18日	継続審査
2	新型コロナ禍による米価下落に対し政府による緊急対策を求める請願	遠野市宮守町下宮守39-33-5 宮守農民連 小竹森 正一	産業建設	〃	採 択
3	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度予算に係る意見書採択の要請に関する請願書	花巻市四日町3丁目13-10 岩手県教職員組合花北遠野支部 支部長 高橋 克典 ほか1名	教育民生	〃	継続審査

一般質問一覧

質問者	質問の要旨
<p>萩野 幸弘 議員 (一問一答)</p>	<p>1 新型コロナウイルス対策の現状について 新型コロナウイルス対策について、特にワクチン接種体制を中心とした進捗状況や課題及び改善点を問うとともに、経済対策も含めた今後の見通しについて、市長のお考えを伺う。</p> <p>(1) ワクチン接種の基本的な認識について (2) 高齢者ワクチン接種の予約率や接種率、意思確認、完了の見通し等について (3) ワクチン接種体制の在り方や接種出来ない方の 対策、接種促進方法等について (4) ワクチン接種予約のあり方、使用期限、接種トラブル対策等について (5) 予約キャンセル対策等について (6) 接種の優先順位の認識について (7) 65歳未満のワクチン接種の予約時期、会場、巡回接種等について (8) 実習生等外国人への接種対策等について (9) ワクチンパスポートへの対応について (10) ワクチン接種を実施しての反省点や今後の改善点等について (11) 本市の経済状況における産業別の認識について (12) 経済活性化のための喫緊の課題解決策について</p>
<p>佐々木 敦緒 議員 (一括質問)</p>	<p>1 コロナ禍収束後を見据えた観光振興・地域振興について 観光振興は経済への広い波及効果とともに、地域文化の振興やまちのイメージアップなど様々な効果が期待される。眠っている観光資源に光をあてて、新たな観光ルートなどの構築が必要ではないか。</p> <p>(1) 観光振興は経済への波及効果とともに地域文化の振興やイメージアップなどの効果が期待される。これまでの観光振興について改める、あるいは伸ばすべき事柄など所見を伺う。 (2) 観光客の入込・宿泊客とも大きく減少していると当局では分析している。分析をもとに望ましい方向に舵取りされているのか伺う (3) 金取遺跡や綾織新田遺跡を体験学習や観光に活かすべきと提言した。部や課を超えた対応が必要と思うが見解を伺う。 (4) 県道土淵達曾部線沿線に連なる名所旧跡群を新たな観光スポット「遠野ロマン歴史街道」として構築し、PRに努めるべきと考えるが見解を伺う。 (5) 飲食業振興のためジンギスカンと遠野ビール全国大会等の一大キャンペーンの開催を今から計画するとともに、畜産振興公社で遠野の羊牧場を開設するなど地産地消の食文化の発信について、関係部署が連携した取り組みの構築を期待するが考えを伺う。 (6) どぶろく、日本酒、ホップの里が生むビール、ワインと多彩な酒文化が遠野にはあるが、まずはジンギスカンがけんいん役となり酒食の連携で日帰り観光を宿泊、滞在型観光へとシフトさせ、リピートにつなげる必要があると思っているが考えを伺う。</p>
<p>菊池 美也 議員 (一問一答)</p>	<p>1 特別な支援を必要とする高校生の学びの場の確保について (1) 市長が思い描く「共生社会」について (2) 共生社会の実現に向けた事業の評価について (3) 先導的共生社会ホストタウンとして担うべき役割について (4) 花巻清風支援学校遠野分教室の教育的・社会的効果について (5) 特別な支援を必要とする中学生の進学選択について (6) 生徒の気持ちの確認について (7) 相乗的な教育効果について (8) 高等部分教室の設置について</p> <p>2 高度情報通信社会における遠野テレビの将来像について (1) 第三セクター改革の論点について</p>

質問者	質問の要旨
	(2) 情報通信技術の高度化の追求と人口減少に伴う運営維持について (3) 光ファイバー化工事の投資額に見合う効果の追求について (4) 企業成長と、位置づけについて
小林 立栄 議員 (一問一答)	1 子ども・若者が活躍できる未来を目指して (1) 奨学金返還支援の取組について (2) 家賃支援の取組について (3) 本市出身の若者との連携について (4) 生理の貧困について (5) ヤングケアラーについて 2 消防団員の処遇改善で防災力の担い手確保を 「消防団員の処遇等に関する検討会」中間報告書が公表され、消防団員の報酬等の基準の策定等について、消防庁長官から通知が発出された。年額報酬や出勤手当のあり方、装備・訓練の充実強化、共済や個人年金の活用等、消防団の人材確保について伺う。
菊池 巳喜男 議員 (一括質問)	1 第3次遠野市農林水産振興ビジョンの策定について (1) 農林水産業の現状と課題について (2) 地域農業マスタープラン作成の進捗状況と課題について (3) 中山間地域での農業や集落の維持を図っていく対策について 2 第2次遠野わらすこプランの推進と実践について (1) 幼児教育・保育の無償化の現状と問題点について (2) 医療費給付の実態と拡充対策について (3) 子どもの貧困対策支援と実態について (4) 少子化の要因として考えられる対策について 3 新型コロナウイルス感染症対策事業について (1) ワクチン接種実績と見通しについて (2) ワクチン接種の問題点と対策について (3) 新型コロナウイルス感染症対策事業の進捗状況と課題について
小松 正真 議員 (一問一答)	1 官民連携まちなか再生推進事業について (1) 内容は (2) これまでの当該エリアで行ってきた事業の検証は (3) 過去事業・計画との整合性及び連動性は (4) なぜこのタイミングでの上程なのか
佐々木 僚平 議員 (一括質問)	1 コロナワクチン接種の取り組み状況、コロナ感染予防のPCR検査について (1) ワクチン接種の取り組みの状況は (2) 交通弱者、自宅介護の寝たきりの方の接種は (3) 医療機関の従事者、高齢者福祉施設、教育、保育施設へのコロナ感染予防対策として、PCR検査等の計画は (4) これまでの教訓と課題は 2 コロナ禍における支援対策について (1) 第2弾の持続化給付金等の市独自の支援の検討、県、国への要請は (2) 住宅リフォーム事業の再開は (3) 市外、他県での学生に対する支援策は 3 「デジタル化」について デジタル化による「デジタル監視法案」とマイナンバーについて伺う。 (1) 「デジタル監視法案」の捉え方は (2) 「デジタル庁」の新設による窓口サービス等へ影響は（職員の削減、窓口サービス等）
佐々木 恵美子 議員 (一問一答)	1 オープン迫るこども本の森遠野について 7月25日オープン予定の、こども本の森遠野。計画から約1年間の短期間集中で周知を図りながら進めてきた中で、本館建屋が姿を現し注目されている。活用についても、市民がワーキンググループを立ち上げ、「耕

質問者	質問の要旨
	<p>す」意識へ鍼が入った様子である。一方で、まだ周知が浅く、理解をしてもらう必要があるのではないかと伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 設置目的、設置に至る経緯 (2) 設置候補地として、旧三田屋を紹介した理由は (3) 本館建設費用について (4) オープン後の書籍管理、施設維持に係ること <p>2 新型コロナワクチン接種、遠野市の今後の考え方について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市民の接種後、副反応の様子を伺う (2) チームワクチンを立ち上げは、積極的な接種を進める考えからか (3) 情報社会の中で、市民もあらゆる形で情報を得ている。接種に不安がある方もいるが。
<p>佐々木 大三郎 議員 (一問一答)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 中心市街地活性化基本計画について <ol style="list-style-type: none"> (1) 観光客の入り込み数について、目標に対する実績と検証状況。 (2) 空き店舗の現状と今後の対応策 2 健全財政に向けた課題の早期解消について <p>公共施設の維持管理費が毎年増加傾向にある。作った建物はもっと有効に活用すべきでないか。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) あすもあ遠野1階の活用策の検討状況 (2) 遠野みらい創りカレッジの現状と活用策
<p>多田 勉 議員 (一問一答)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 公有財産の現状と今後の活用 計画等について <p>市が所有する財産の現状と、今後の活用計画及び具体的な取り組み方針について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市有林の経営管理に伴う庁内組織対応の現状と今後の体制のあり方について (2) 旧JA跡地(宮守町)の活用に対する考えと今後の見通しについて (3) 鱒沢地区センター建設予定地の早期活用に対する考えについて 2 遠野市定員管理計画について <p>令和3年度から令和7年度までの遠野市定員管理計画(第4次計画)に伴う組織体制と事務執行のあり方について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 限られた職員数で編成されている組織体制のあり方について (2) 年度初めに行う定期人事異動により、継続的事務執行の保持が図られているか
<p>瀧本 孝一 議員 (一問一答)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 家族の介護や世話をする18歳未満の子ども「ヤングケアラー」の実態把握と支援等について <ol style="list-style-type: none"> (1) 4月に政府から発表されたヤングケアラーの実態調査結果の認識と感想等について (2) 市内の中学・高校への調査の有無や把握について (3) 学校現場でのヤングケアラーの早期発見の取り組みの必要性について (4) ヤングケアラーの社会的認知度の向上と、啓発周知について (5) 教育的見地からの支援策やサポートについて (6) 行政福祉面からの調査結果の感想と、相談の有無や実態把握の必要性について (7) 行政福祉面からのサポート体制と、福祉・介護・医療・教育機関等との連携の必要性について 2 認知症の方を支えるまちづくりに、徘徊等での事故等における賠償対応へ、保険救済制度の導入について <ol style="list-style-type: none"> (1) ハートフルプラン2021に掲げる認知症にやさしいまちづくりの推進の具体的中身について (2) 市内における認知症徘徊者の実態等について (3) 事故等の賠償請求を想定し、認知症本人や家族に代わって自治体が個人賠償責任保険を契約し、救済制度を導入する自治体が増えている。本市の認知症にやさしいまちづくりに導入の必要性について

署 名

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

遠野市議会議長 浅 沼 幸 雄

遠野市議会議員 菊 池 美 也

同 萩 野 幸 弘